

地域のこれからを、 データを活用し考える。

京都北部地域の「これから必要な地域サービス」を、官民で一緒に考えてみませんか。

人口減少や人手不足、交通、買い物、医療・福祉、地域産業など、地域を取り巻く環境は大きく変化しています。

このフォーラムでは、RESAS（地域経済分析システム）を使って、福知山市を中心に、データから見つめ直し、地域に必要なサービスやこれからの官民共創について考えます。



データで見る
福知山の今とこれから



多様な立場で考える
ワークショップ



将来に向けて必要な
地域サービスを考える



プログラム（全3時間）

①認定エッセンシャルサービス制度について（20分）

【説明】 近畿経済産業局 地域経済部
地域連携推進課長 岡田 賢晃 氏

②RESASを活用した地域分析（90分）

【説明】 近畿経済産業局
地域経済部 地域連携推進課
・データから見る福知山の現在とこれから
・人口・産業・地域経済など
・京都北部の他市町について
・RAIDAや関連ツールについて

③ワークショップ（30分）

これから維持・充実していきたい地域サービスとは？
行政・民間・地域が一緒にできることを考えます。

④各グループからの共有・コメント

⑤アンケート・ネットワーキング

名刺交換会

こんな人におすすめです

- ・ 行政職員
- ・ 商工会議所・商工会などの支援機関
- ・ 地域の事業者
- ・ 地域・まちづくりに関心のある大学生
- ・ 地域連携や官民連携に関心のある方

開催概要



2026年11月13日（金）
14：00～17：00



市民交流プラザふくちやま
京都府福知山市駅前町400番地



定員30名（先着順）

参加費
持ち物

無料
インターネットに接続
できるパソコン

※会場にWifi環境があります

主 催

福知山市
京都北都信用金庫

お申込みはこちら

右の二次元コードからお申込みください。
（先着順・定員になり次第締め切ります）



イベント概要

14:00

認定エッセンシャルサービス制度

～地域の暮らしを支える「エッセンシャルサービス」とは～

地域で暮らし続けるために、なくてはならないサービス。
人口減少や少子高齢化、人手不足が進む中、買い物、移動、物流、燃料、医療・介護など、日常生活を支えるサービスを地域でどう維持していくかが課題となっています。「認定エッセンシャルサービス制度」は、こうしたサービスの持続性確保に取り組む事業者等を後押しするための新たな仕組みです。

【支援措置（法律に基づく主な措置）】

- ①信用補完制度（信用保証・信用保険）による特例
- ②特別利率による制度融資の特例
- ③事業承継等における特定許認可等に基づく地位の承継
- ④地方公務員が事業計画へ参画する場合の事前協議
- ⑤事業協同組合等の設立要件の緩和

【対象事業者】

買い物、物流、公共交通、燃料、医療、介護、その他の生活サービス 等



14:30

RESAS

～地域をデータでみる～

RESAS（リーサス）とは
地域経済に関するさまざまなデータを、地図やグラフで わかりやすく見ることが
できる政府のシステムです。
人口、産業、観光、地域経済循環、農林水産業、医療・介護など、地域を考えるため
の多様なデータを確認できます。
今回のフォーラムでは、官民ビッグデータを用いて、上記のような視点から実際の
操作方法の解説から具体的な使用事例なども含め学ぶ機会としています。
認定エッセンシャルサービス制度においてもRESASの活用が推奨されています。



RAIDA ※簡単な紹介のみ

～地域課題をさらに「考える」～

RAIDA（レイダ）とは、データから地域を捉え、分析・考察することをサポートする
プラットフォームです。AIを活用し、地域のデータをもとに課題を考え、施策に
つなげていくためのヒントを得ることができます。現在は、人口減少対策や観光振
興などのテーマについて、関連データやAIによる分析サマリーも提供されています。
今回のイベントでは、RESASの操作説明の中で、紹介します。



16:00

ワークショップ

～それぞれの立場で落とし込む・互いの意見を学び視野を広げる～

認定エッセンシャルサービス制度、RESASなどを踏まえ、今後、地域に必要な視点、
官民共創の在り方、などについてグループワークを通して意見交換を行います。

福知山市・京都北都信用金庫は、これまでから「官民共創による社会課題へのアプローチ」をテーマとし、社会課題をビジネスで解決するためのそれぞれの立場のキーパーソンを招聘し、学びや触発につながる場づくりに取り組んでいます。これまで、「官民の相互理解」や「先進地の視察」を通して、内発的な共創の土壌を育んできました（マインドセット）。今回は、今後、実際に施策立案・事業計画などの際に、欠かすことができない「外部環境・情報の整理」という視点を学びます。本イベントは、京都北都信用金庫の「地域創生ワークショップ」としての開催を兼ねています。